

前年度(平成28年度)大臣賞受賞者の受賞後の動向等について (受賞者へのアンケート結果)

受賞企業名	主な輸出品目	主な輸出先国・地域	受賞後の輸出動向などについて (新たな取組・輸出国・輸出品等)	受賞後の影響・変化について (外部からの講演依頼があった、メディアに取り上げられることが増加した等)
十勝川西 長いも 運営協議会 (北海道帯広市)	長いも	米国 ・ 台湾 ・ シンガポール等	平成28年産の長いもは、台風によって不作となり、輸出量は1702tと減少したが、価格高騰により輸出金額は9億6200万円と、過去2番目の金額を達成。 平成29年産の長いもは、11月から出荷をスタートしているが、12月末までの間に500tの出荷と1億9700万円の輸出実績を達成。	地元新聞に取り上げていただいた他、メディアの取材も複数回行われ、知名度アップに貢献。 また、生産者も受賞を励みにしており、生産意欲が向上。
オイシックス ドット大地 株式会社 (東京都品川区)	青果物 ・ 水産物 ・ 加工食品	香港	受賞後、2017年に中国上海にて現地法人を立ち上げ、現地日本人向けにサービスを開始。 本年は、現地中国人向けにもサービスを展開予定。こちらのサービスは現地の安心安全な商品(野菜)を目利きし、宅配にて提供。 また、全農グループを通じて、日本で有機栽培したお米を中国へ輸出。	受賞式の様子をメディアに取り上げていただいたほか、当社の海外事業を第三者的に評価いただき、信頼性が高まっていると思慮。
尾鷲物産 株式会社 (三重尾鷲市)	鮮魚 ・ 養殖ブリ	中国 (台湾、香港他) ・ シンガポール ・ タイ ・ ベトナム他	2017年2月より、香港の外食企業と直接取引を開始し、現在も継続。 現地回転寿司チェーン向けにこれまで香港向けでは輸出の無かった生鮮ブリフィレを週2回定期的に輸出しており、2月から12月までの10か月累計で約23t(約5千万円)を輸出。 この他、直接貿易では台湾向けに生鮮ブリ製品等を44t(約7千万円)、香港向けに冷凍ブリ製品等を13t(約2千万円)継続して輸出中(間接貿易の輸出分に関しては集計中)。	外部からの講演依頼として、日本の食品輸出EXPOでの特別セミナー講演依頼、東海地域農林水産物等輸出促進協議会総会における情報提供に対応。
株式会社 くしまアオイ ファーム (宮崎県串間市)	青果物 (さつまいも)	香港 ・ 台湾 ・ シンガポール	従来からの案件として、香港・台湾・シンガポールの3か国・地域を中心に青果物(さつまいも)を輸出。 2016年度の輸出量は420tだったが、2017年度は512tまで増加。 日本全体のさつまいも輸出量における2016年度の弊社のシェアは18%程であったが、2017年度は30%を突破。 今後は販路拡大を目指し、新たな輸出国の開拓に取り組み、青果だけでなく、加工品(6次化商品)の輸出にも挑戦していく予定。	2016年度に比べ、受賞後の2017年度は新聞やテレビなどのメディアからの取材、特にテレビの取材が増加。また、30分番組であったり、ゴールデンタイムの放送など宮崎県限定ではあるが、知名度がかなり向上。 また、弊社代表の講演依頼も増え、東京や九州管内で多くの講演を実施。これに関連して、弊社への視察依頼も増加し、多くの方が弊社へ来社し、代表の講演、施設見学なども行われたところ。